

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	子ども家庭局子育て支援部こども若者成育課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	北九州市立玄海青年の家	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市若松区大字竹並126番地の2		
	設置目的	集団宿泊生活や野外活動などの体験を通して、規律、協調、友愛、奉仕の精神と創造性を養い、次代を担う健全な青少年を育成することを目的とする。		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体		
	所 在 地	北九州市小倉北区堺町一丁目6番15号		
指定管理業務の内容		・ 施設の使用許可権限の代行 ・ 施設の使用受付及び使用料金収受事務 ・ 事業の企画、実施 ・ 施設の維持補修等のメンテナンス ・ 警備・清掃業務 ・ その他施設の管理運営 等		
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている

0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている
---	----	-------	-----------------

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 （評価結果）
	（評価レベル：0～5）			（100点満点）	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				50	36
（1）施設の設置目的 の達成	3	3	利用実績は目標に対しやや下回ったが、前年度利用実績を上回る数値となったことは広報強化によるものと高く評価する。また、要求水準を大幅に超える主催事業の実施など、青少年育成施設の役割を果たす積極的な運営姿勢がみられた。	35	21
（2）利用者の満足度	4	5	満足度は目標を大きく上回る高い水準にあり、前年度実績も上回っており、利用者の声を確実に捉えているものと非常に高く評価する。SNS等を活用した丁寧な情報発信や送迎バス提供など、利便性とサービス向上への細やかな配慮がみられた。	15	15
2 効率性の向上等に関する取組み				30	18
（1）経費の低減等	3	3	共同企業体の強みを活かし、他施設との人員応援や業務のマルチタスク化など効率的な運営体制がみられた点を評価する。また、相見積りによる経費節減など適正な予算管理もなされていた。	20	12
（2）収入の増加	3	3	自販機収益を野外活動物品等の購入に還元し、サービス向上に努めたことについて評価する。今後について自販機以外の収益源の確保や、自主事業の更なる展開による収入増を期待する。	10	6
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				20	18
（1）施設の管理運営 （指定管理業務） の実施状況	5	5	もじ少年自然の家、かぐめよし少年自然の家の指定管理者でもあり、施設間の職員派遣など密な連携が可能のため、効率的な運営やサービス、安全面の強化が図られている。また、施設運営に必要な資格（カヌー、救急法、自然体験など）をJV構成員のノウハウで効率的に取得させ、職員の資質向上に努めていることから、特に優れた取組みと評価する。	10	10

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など	4	4	規則や条例の遵守、定期的なマニュアル改訂など、適切な管理運営の姿勢がみられた。特に、全部で18ある体験活動ごとに安全管理マニュアルが整備され、十分な安全管理体制を構築していることが、安全かつ充実した屋外活動に繋がっていることから、優れた取り組みと評価した。	10	8
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる（80点以上） B：やや優れていると認められる（70点以上80点未満） C：適正であると認められる（60点以上70点未満） D：努力が必要であると認められる（50点以上60点未満） E：かなりの努力が必要であると認められる（50点未満）			合 計	100	72
			総合評価ランク（A～E）	B	

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総括的に記入してください。

利用実績が要求水準に達しなかったものの、コロナ感染拡大の影響による大型団体の減少に対し、SNS等を駆使した広報強化で改善傾向にある点について高く評価する。特に、主催事業の実績は要求水準を大幅に上回っており、青少年育成施設としての役割を積極的に果たしていた。また、共同企業体の強みを活かした人員応援や車両提供による業務効率化、高い利用者満足度の維持、徹底した安全管理体制も特筆すべき功績である。今後は目標達成に向けた集客力の更なる向上と、自販機以外の収益源確保に向けた積極的な経営努力について期待する。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。
今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

<参考> 現指定期間中の評価結果

区 分	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	72	—	—	—	—	72

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶ 1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）について、1期に限り指定の更新（+5年間）を認めるもの。

※低評価のペナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶最終年度を除く全指定期間中の平均点が5.9点以下の指定管理者について、同指定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から1.0点または1.5点をマイナス）するもの。

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	北九州市立玄海青年の家
	所 在 地	北九州市若松区大字竹並 126 番 2 号
指定管理者 (自己評価者)	名 称	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体
	所 在 地	北九州市小倉北区堺町 1 丁目 6 番 15 号
指定期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
児童・生徒対象事業	☒	○	
親子対象事業	☒	○	
共催・共同・協力事業	☒	○	
一般市民対象事業	☒	○	
施設ボランティア養成事業	☒	○	
指導者養成事業	☒	○	
	☐		
自主事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
自動販売機事業	☒	○	
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価																																																	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		3																																																	
(1) 施設の設置目的の達成																																																			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																																																			
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。																																																			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。																																																			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																																																			
〔評価の理由、要因・原因分析〕 令和7年度の年間利用者数(延人数)39,842人(92.6%)利用団体数は742団体(98.9%)の実績となり、要求水準に満たない結果となった。コロナ感染症拡大後、宿泊型青少年施設の大型利用団体は激減したが、その中でも利用者数減少の大きな要因として、本市の全中学校が実施してきた、ふれあい合宿（2泊3日）があげられる。当事業は令和元年度より実施について学校自由選択となり平成30年度の利用実績（11,090人）をピークに今年度実績（5,140人）まで減少している。そのため大型団体に頼らず小規模団体の利用機会やリピーターの増加を目指す方法としてHPやSNSを駆使して空室情報等の広報強化を目指した。その結果、利用団体数は令和6年度に比べ増加（103.6%）し、利用者数（延人数）も増加（106.7%）している。また主催事業は年間20回の要求水準をはるかに超えた年間34回の実績となっており社会教育施設としての本市での役割を十分に果たしている。次年度以降、複数団体が入所できる施設の強みを生かし、広報強化を継続して施設の利用率を向上させて要求水準以上の実績を目指していく。 （単位：延人数） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>【利用者数】</th> <th>令和6年度 (更新前)</th> <th>令和7年度 (1年目)</th> <th>令和8年度 (2年目)</th> <th>令和9年度 (3年目)</th> <th>令和10年度 (4年目)</th> <th>令和11年度 (5年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要求水準</td> <td>62,000</td> <td>43,000</td> <td>47,000</td> <td>51,000</td> <td>55,000</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>64,200</td> <td>43,000</td> <td>47,000</td> <td>51,000</td> <td>55,000</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>37,307</td> <td>39,842</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （単位：団体数） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>【団体数】</th> <th>令和6年度 (更新前)</th> <th>令和7年度 (1年目)</th> <th>令和8年度 (2年目)</th> <th>令和9年度 (3年目)</th> <th>令和10年度 (4年目)</th> <th>令和11年度 (5年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要求水準</td> <td></td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> </tr> </tbody> </table>			【利用者数】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)	要求水準	62,000	43,000	47,000	51,000	55,000	60,000	目標値	64,200	43,000	47,000	51,000	55,000	60,000	実績	37,307	39,842					【団体数】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)	要求水準		750	800	850	900	950	目標値		750	800	850	900	950
【利用者数】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)																																													
要求水準	62,000	43,000	47,000	51,000	55,000	60,000																																													
目標値	64,200	43,000	47,000	51,000	55,000	60,000																																													
実績	37,307	39,842																																																	
【団体数】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)																																													
要求水準		750	800	850	900	950																																													
目標値		750	800	850	900	950																																													

実績	716	742				
※ ・・・評価対象年度						
(2) 利用者の満足度						評価レベル (0～5)
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。 ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。						4
[評価の理由、要因・原因分析] ・令和7年度アンケート結果の満足度は目標に対し106%の達成率となり、施設サービスに対して利用者利用団体から高い評価をいただいた。なかでも「所員の対応」は98.6%、「設備の状況」は95.0%と高く、所員の細やかな配慮や要望に対する柔軟性、清掃職員の日々の努力が評価されている。アンケートは利用団体のほぼすべてから回収しており（回収率99.9%）さらに利用団体の児童生徒からのアンケートを回収するなど、利用者の声を反映する施設を目指している。また利用者からの要望や安全面での情報は迅速に所内のミーティングを経て改善対応している。情報提供についてはHPを駆使しており、年間の更新実績は306回、SNSはフェイスブック132回、Instagramを145回更新しており、施設の空室情報や主催事業、食事、安全管理面まで詳細に情報を提供している。サービス面での維持向上に関しては、施設の主催事業や市主催のチャレンジ100キロに共同企業体が有するマイクロバスを提供することで、利用者の利便性の向上に寄与している。（R7年度利用：32団体、226人）						
【満足度】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
目標値	98.1%	88.3%	89.2%	90.2%	91.4%	92.5%
団体実績	93.8%	93.9%				
有効回答数	903団体	803団体				
小中学生実績	90.4%	89.5%				
有効回答数	—	310人				
※ ・・・評価対象年度						
2 効率性の向上等に関する取組み						
(1) 経費の低減等						評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						3

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[評価の理由、要因・原因分析]

青年の家は利用料金制を採用しておらず指定管理者は指定管理料と自販機収益のみで管理運営を行っており、予算管理を厳格に行うと同時に共同企業体が予算化しないバックアップ体制でサービスの低下を招かない運営を実現している。(施設の定期巡回、車両提供等) また人件費等もマルチタスク化により効率的な運用を行い、かつ人件費の昇給も毎年行えるよう予算化している。他施設からの人員応援配置もサービスの向上はもとより経費の効率的な運用に寄与している。物品購入や工事修繕に関しては見積もり合わせによる経費節減に努めている。

再委託業務に関しても専門性の高いものは外部に委託し業務水準については太平ビルサービス(株)がチェックをおこない適正な品質と経費のバランスをとっている。

年間の収支は適正であり、指定管理料の範囲で運営を継続している。

(単位: 千円)

【支出】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
事業費	計画	3,816	4,690	4,690	4,690	3,910	3,690
	実績	3,395	3,533				
人件費	計画	60,790	64,925	66,122	67,344	68,088	67,665
	実績	60,856	67,403				
管理運営費	計画	31,424	40,778	39,638	38,226	38,518	39,058
	実績	31,478	38,111				
業務委託費	計画	2,084	2,172	2,220	2,172	2,220	2,172
	実績	1,811	2,046				
修繕費	計画	2,600	2,522	2,522	2,522	2,522	2,522
	実績	2,731	2,244				
一般管理費等	計画	840	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080
	実績	960	960				
小計	計画	101,554	116,167	116,272	116,034	116,338	116,187
	実績	101,231	114,297				
消費税	計画	10,155	11,616	11,627	11,603	11,633	11,618
	実績	9,979	11,432				
計	計画	111,709	127,783	127,899	127,637	127,971	127,805
	実績	111,210	125,729				

修繕費に関しては施設所管局と協議し、予算を超えるものについては市からの修理費で管理し、指定管理料の修繕費の予算では軽微な修理に対し活用しており、利用者

サービスや安全管理に関して万全の対策をとっている。

(単位：千円)

【うち修繕費】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
計画	2,600	2,522	2,522	2,522	2,522	2,522
実績	2,731	2,244				

※ ・・・評価対象年度

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 使用料(利用料金)収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入(例：協賛金など)を獲得できているか。
- ③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。

3

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・指定管理料のみの運用による施設管理を継続しており、自主事業の収益は自動販売機収益のみとなっている。協賛金や外部からの収益は得ていない。

(単位：千円)

【収入】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
指定管理料 収入	計画	109,067	126,878	126,967	126,678	126,985	126,792
	実績	111,371	126,573				
その他 収入	計画	2,500	630	640	650	660	670
	実績	515	516				
自主事業 収益還元	計画	142	250	262	274	286	298
	実績	221	236				
宿泊税 報奨金	計画	0	25	30	35	40	45
	実績	28	29				
計	計画	111,709	127,783	127,899	127,637	127,971	127,805
	実績	112,135	127,354				

- ・指定管理料について、令和7年度より修繕費が概算払いとなっており、未執行分は市へ戻入し計画より減収している。自主事業収入(自動販売機)で得た利益を原資として、野外活動物品等を購入しサービスの向上に役立てている。

<指定管理業務への収益還元の状況>

(単位：千円)

【実績】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
利益額	221	236				

還元額	221	236				
還元率	100%	100%				

※ ・・・評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み						
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況						評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。						5
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。						
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
人員体制については、青少年施設の運営経験や指導経験を有した職員を配置している。特に主催事業や施設整備等の応援として、当企業体が指定管理者として管理している、もじ少年自然の家、かぐめよし少年自然の家から職員の派遣を行うことで、効率的な運営やサービス、安全面での強化を図ることができた。職員の資質向上に関しては、当共同企業体構成企業が青少年施設運営にかかわる様々な資格認定（カヌー、救急法、自然体験等）を実施できるためコスト面も含め効率的に職員の資質を向上することが可能となっている。さらに福岡県の青少年施設研修会や専門研修に派遣するなど、閑散期を中心に職員研修を実施している。青年の家では、施設内にとどまらない教育活動として市民センターや小学校への出前講師、また子ども若者応援センター「YELL」と協同して青少年の自主的・主体的な成長を目的とした主催事業の開催、第七管区海上保安本部との合同マリンスポーツ研修等、地域や関係団体とのネットワークを構築し地域に役立つ青年の家を目指し活動している。						
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など						評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。						4
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。						
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。						
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。						
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。						
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。						
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
今年度も北九州市立青少年の家管理規則や北九州市個人情報保護条例に則り、青年						

の家の管理運営を行った。入所にかかわる料金や入所受付については、規約に沿って平等・公平に実施した。青少年施設は様々な個人情報を取り扱うため、個人情報の保護マニュアルを活用し管理している。利用団体は集団宿泊、自然体験活動をおこなうため、様々な安全管理が必要な施設であり各種の安全管理マニュアルを常に改定しながら管理を実施し、令和7年度も軽微なケガ等以外は重大な事故事件は起きなかった。夜間は太平ビルサービス（株）警備員が宿直し、厳格な警備体制を実施することで不審者の侵入や事件は発生していない。消防や避難訓練等の定期的な研修はもとより、年1回、自然体験活動や施設管理に関する「安全大会」を企業体管理施設の職員が集まり研修することで、安全安心な施設の実現を目指している。

【総合評価】

[全体的な評価・今後の対応等]

- ・近年、青少年教育施設の利用者や団体も変化してきている。コロナ感染拡大の後、これまで毎年利用のあった学校利用が減少し大型利用団体が減少する中、今後は年間を通じてリピーターとなる小団体や新規団体の増加や、施設外の地域・団体への出前講師を派遣する等、利用者数と利用団体数の増加に向けて様々な活動や広報を強化していく。また時代のニーズに沿った教育プログラムの開発も強化し魅力ある青少年施設として「また来たい」「来てよかった」そう感じていただける青年の家を目指していきたい。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2	↓	要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。